

令和7年度
軽井沢町地域公共交通計画策定支援業務
町民等ワークショップ開催結果

令和7年（2025） 7月

1. ワークショップ概要

1.1. 開催目的

「軽井沢町地域公共交通計画」の策定に向けて、町民や別荘所有者の今後の公共交通の事業に関する要望等を把握するため。

1.2. 開催日時・参加者数等

開催日時：令和7年（2025）7月2日（水） 19:00～21:00【平日開催】

7月13日（日） 10:00～12:00【休日開催】

参加者：【平日開催】27名 【休日開催】31名

1.3. 成果の概要

【目標①～④に対する事業内容へのご意見】

目標	主な内容
①	<ul style="list-style-type: none">・循環バスの本数増・小型化・バス停をホテル等に設置（観光客対応）・駅前立体駐車場化、パーク＆ライド促進・新幹線・しなの鉄道・バスの乗り継ぎ改善・スクールバスの通学利用、観光バスの混雑分散
②	<ul style="list-style-type: none">・デマンド交通の制度改善（時間帯・エリア・年齢制限）・シャトルタクシー、グループタクシーの導入・有償ボランティアや共助型の送迎制度・ライドシェア（Uber型含む）・自動運転車やハイエースバスの活用・スクールバスの共用・複用（地域輸送にも）
③	<ul style="list-style-type: none">・わかりやすい時刻表・共通ダイヤの整備・Google Maps等でのバス検索対応・交通情報のアプリ・プラットフォーム整備・バス停改善（日除け・ベンチ・デザイン）・多言語対応・観光案内の見える化・イベント連携（時刻掲載）・交通意識向上キャンペーン
④	<ul style="list-style-type: none">・デジタルサイネージ・スマホアプリでの情報提供・交通系IC・QR決済の導入・デマンド交通のアプリ簡便化・一元管理・利用促進のための割引（市民割・デジタルクーポン）・運転手確保・通年雇用・免許取得支援・モビリティマネジメントと連動した制度設計

【その他、公共交通全体へのご意見】

内容の分類	主な内容
公共交通以外の移動手段への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全確保 ・自転車専用道の整備 ・EV（電動キックボード等）を観光利用へ
観光と生活交通の分離・統合の再検討	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交通と住民交通を分けるべき ・同一手段で両立を図るべき（観光と生活の協調）
学校・教育施設と交通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携を図る交通施策が必要 ・スクールバスの地域共用
別荘所有者・短期滞在者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・短期滞在者への交通案内や利用手段の周知が必要
地域間連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市や御代田町との広域連携も視野に ・通勤・通学に配慮した地域間接続

【今後の公共交通の利用意向】

内容の分類	主な内容
日常の移動	<ul style="list-style-type: none"> ・車を使わずに済むなら日常使いしたい ・日中の買い物・通院が多い
特定目的での利用	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑回避や駐車場の都合で観光時に使いたい ・子ども・高齢者との移動に活用したい
将来の選択肢	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納後の移動手段として期待 ・高齢期に備えて選択肢の一つにしたい
現在は使っていないが条件次第で利用	<ul style="list-style-type: none"> ・本数が増えれば使いたい ・予約のしやすさ、運賃次第で考える
移動支援・家族向け	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の家族が使えるよう整備してほしい ・子育て世帯の送迎にも役立てたい

2. 開催結果

2.1. 目標①～④の対策事例への要望

ワークショップでは、検討中の計画骨子案について、その事業の内容について参加者からご意見を頂きました。現在検討している内容と、それ以外に必要と考えられる内容の2種類について、以下のとおり意見が出されました。

【平日グループ1】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの小型化 ・循環バスの停留所をホテルに変更して観光客や地元住民にも利用してもらい稼働率を上げる ・軽井沢駅のパークが事実上いつも満車で使えない。 立体にしてほしい ・軽井沢駅西の駐車場を立体にしてパーク台数を増やしてほしい ・循環バスの時刻表を20分に1本にする ・人、物、金ではホテルの送迎車を利用する ・介護タクシーの公共化←サービス母体 松葉タクシーバス ・鉄道とバスの乗り継ぎ改善はもちろん強く望むが、せっかく乗り継ぎ券があるのだから「バス同士」も考えてほしい 	
②	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの時間延長 ・デマンドタクシーの年齢幅、時間帯等の改善 ・公共交通空白地のくわしい実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転タクシーの早期導入 ・駅、病院、役所、学校等公共機関直通輸送手段の導入 ・ホテルを停留所にすることで、ホテルをハブとして空白地から近くのホテルまで移動してもらい循環バスを使ってもらう
③	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の所在の明確化 ・モビリティマネジメント（の政策説明について）→人の集まる所、スーパーなどに行って行う ・最寄り駅までの交通手段の確保 ・駐車代の値上がり ・しなの鉄道の軽井沢 ⇄ 小諸間のみ 15分おきに運行してほしい ・循環バスは15~20分に1本 ・しなの鉄道は軽井沢 ⇄ 小諸、小諸 ⇄ 佐久 15~20分に1本 ・夜の外食帰り 足（交通手段）の確保→コミュニティ形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外通過車両の18号以外通行禁止 ・プリンス等ホテルバスの利用許可 ・レストランなどと提携してタクシー定額（山梨県北杜市のってけし参考に）
④	<ul style="list-style-type: none"> ・ハブ化 ・バス停まで徒歩不可能の人の対処 ・バスの本数の増加、運行時間の増加 ・道幅を広げてほしい ・バスの位置情報を、運行情報をスマホで配信 ・バスの実時間のスマホ表示 バス停で待つのではなく ・ユニクロ化 ・スクールバスの運行（中学生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシー制度の維持と改善 ・ドア to ドアの交通サービスの充実（デマンドタクシーなど） ・どこでもバス バス停でなくとも乗り降りできる ・乗り合いUberの実現 ・バスのルート検索スマホできたら良い ・バスが1時間に1本でなく1時間に3本（20分に1本）走っていればサイネージは必要ない ・鉄道の電子決済導入（Suicaなど） ・スクールバスの充実 通学の安全

【平日グループ2】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手さん確保のための賃金値上げ ・しなの鉄道増便 追分 ⇄ 中軽井沢 ⇄ 軽井沢 ・最寄り駅まで直行で行ける様に路線改善が必要 ・近隣の市町村との連携を深めて町外まで行ける様に（病院に限定可） ・中軽井沢駅、信濃追分駅でのバスと鉄道の乗り継ぎ運賃の一本化 ・駐車場確保 場所に加え使いやすい（気軽に使える）料金設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅延対策 国道、主要道路のバス優先レーンの作成 ・料金無料化
②		<ul style="list-style-type: none"> ・あいのりサービス ・デマンドタクシー利用者 グループ化 グループタクシー ・有償ボランティアによる送迎 ・ライドシェアの改善 ・ライドシェア ・モノレール ・共有電動自転車→サイクリングロード ・自宅まで送迎してくれる
③	<ul style="list-style-type: none"> ・通年雇用 ・最大公約数の公共機関 組み合わせ モデルプラン作成、PR ・冬期の移動サポート強化（日常の場への増便など） ・共通時刻表を作る ・新幹線の時刻に合わせた通勤送迎バス（帰り・夜間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通利用登録支援 ・誰が見てもわかりやすい時刻表等
④	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の改善：日除け対策、イス ・バスの時刻表の検索性向上：google マップや乗り換え検索で分かるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道を含む交通サブスクバス+シェア自転車などあっても…

【平日グループ3】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> ・観、通：駐車場立体化 ・町民：パークレールした時に駐車場を割り引く ・町民：まずは駅周辺の駐車場確保 ・町民、別荘、観光客：各駅だけでなく主要バス停に駐車場や駐輪場を設ける→バスもパーク＆ライドに ・新幹線最終→しなの鉄道最終 持続 ・町民、観光：しなの鉄道またはバスとの新幹線との接続改善（待ち時間長い） ・町民、観光：縦の移動はバス、横の移動は鉄道にする（混雑回避） ・町民：繁忙期の路線バスはムリ！ ・観光客：バスの本数増 ・通勤者：通勤、通学時の公共バスの増便。15分に1本程 ・町民、別荘、観光客：東、南、西、北の循環バスはツルヤ、各駅のいずれか、役場、軽井沢病院は必ず通る路線に再編する ・観光客：週末やGW、夏期に各ホテルや民宿などが多い地区をまわるバスを新設 ・町民、別荘、観光客：循環バスの終了時間を20時台まで延長 ・町民、別荘、観光客：運行回数の増加 ・観、通勤：町内循環路線短く（南が長い）、町内循環バスのエリア分割 ・町民：乗り継ぎ割り引き ・町民：しな鉄とバスの乗り継ぎ ・<既存ターゲット>：移住者、大人目線のプランを感じる。実はお年寄りや家族を多くかかる人が必要としている。 ・タクシーの方がロス多。1人の運転手に数人しか乗れない ・すべてモデル観光地を参考にする。どこ？ ・町民、別荘者：デマンド輸送のエリア分割 ・コミュバスと路線バスのルート重複見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・パークレールライド 色んな所に駐車場が必要 JAツルヤ ・住民の身体の状態や家族構成（協力体制）によりカスタマイズして足すところと引くところを考える ・外国人客は？便利な町 国際色豊かに 英語表記 ・冬の軽井沢は歩ける土地ではないので都市部と同じような配備はまずムリ。除雪ありきの気がする ・観光、通勤：バス、タクシー専用道路 ・<新規ターゲット>：スクールバスの採用 1年中大きく変動することのないものそのため、安定的な運行を求める。これならば遅延など運行状況は学校、教育委員会となるため。又、学校周辺の渋滞回避につながる。 ・観光客：わかりやすいインフォメーション ・町民、別荘所有者：軽井沢駅～中軽井沢駅 自動運転バスの走行 ・スクールバスとデマンドバスをうまく切り替える
②	<ul style="list-style-type: none"> ・地元ホテル送迎を活用したデマンド ・町民：年齢条件をなくす ・町民：町外への移動、配慮必要？ ・町民：佐久方面へのアクセス改善（通院） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民：ホテルのシャトルバスを地域にひらく ・観光：ホテル乗り合いバス ・町民：自家用車のシェアアプリ（おむかえいくよー）Facebook の地域限定 ・町民：シェアサイクルサービスの導入 ・中軽井沢駅をポイントにしたデマンド+中軽～軽井沢駅 自動運転バス+軽井沢駅をポイントにしたデマンド ・観光、通勤：路面電車 ・町外からの車の通行料を設ける ・町民：しなの鉄道軽井沢駅まで小海線乗り入れ→佐久方面の鉄道便確保 ・公共交通で御代田、佐久平への路線拡大
③	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、バス 外部事業者の参入誘致（入りづらくなない？） ・観光：本数を増やす、利用を楽に 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活をやっている子供は最終バスをひろえない ・バス停の間隔を短くする（住民は500m） ・スクール渋滞を緩和に地区ごとにマイクロバスをだしたらいい ・町民、別荘：タクシー券のDX化（交通事業者の負担軽減） ・（特に繁忙期）新幹線×バス利用での割引施策 ・町民、別荘者：地元客向けの割引施策（紙ではなくデジタルで）→Suicaの1タッチで ・季節ごとにバスの運行状況を変える
④	<ul style="list-style-type: none"> ・町民、別荘、観光客：主要バス停への屋根といすの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・モノも運ぶ（薬局から薬とか） ・町民：ツルヤ、コメリの所 停留所 利用者多いが

	<ul style="list-style-type: none"> 待っていて楽しいバス停をつくる（ミニCaféとか） 井戸端会議ができる 町民：バスの始発、終電の拡大 一目でわかるプラットフォームの構築 町民、観光：乗り換えアプリ（ヤフーやNAVITIME）との連携（バス） 町民、別荘、観光客：主要バス停への接近情報設置 デジタルサイネージと言うが、そっちに資金をかけるのか？ 待てる、屋根ある所、公共施設はどこも奥まった所にある 町民、別荘、観光客：交通系ICカード、QRコード決済の導入 	<ul style="list-style-type: none"> バス停おそまつ（屋根はないし狭い） 町民、観光：鉄道、新幹線、バスの乗り継ぎ改善（待たせない） 町民、別荘、観光客：バスの運行情報、時刻表などが見られるアプリの開発 観光：デジタルサイネージはいらないから本数増やして
--	---	---

【休日グループ1】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> 循環バスの細分化 各駅でのしなの鉄道との連絡時間を合わせる 軽井沢駅前の駐車場を増やす 民間路線バス…→社会的共通資本の一つ 財政的、人財的に町が支援 パーク＆レールライド 駐車場を新規に整備する事は困難 既存の駐車場を有効活用 町外駐車場 佐久平ハイウェイオアシス→御代田駅→しなの鉄道 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和に向けた観光税の導入（or 車税、宿泊税） 佐久市へのシャトルバス（住民向け） 観光客に特化した町内シャトルバス 循環バスの便数、時刻表見直し 宿泊施設送迎バスの一元化（渋滞緩和） スクールバスの路線増加（特にバイパス） 停留所の増加（バイパス） スクールバス便の増加 バス本数増のぞむ バスをもっと小型にするのは？
②	<ul style="list-style-type: none"> シャトルタクシーのドライバー確保課題 夜間にも使えるナイトデマンドの導入（のみ帰り） 循環バス接続の分かりやすさ改善 子供－新規デマンドの定時定路線（スクールバス）+フルデマンド 路線バスの見直し 大きさを小さくして増便 タクシーが使いにくい 料金を安くしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 空白地域はハイエースみたいなバスを運行して欲しい 約1km～1.5kmの交通手段として、駅、バス停に自由に利用できる自転車等を置く 公共交通空白地対策 共助 区内での互助 利用する人と援助する人（車提供）を制度化する（マッチング、事故etc）無償 住民と観光客の対策は分けるべき 過疎（住民）対策としては公共交通ではカバー不可→ライドシェアで ライドシェア 徒歩型ではなく→外国の様なウーバースタイルで 住民の住民の為のライドシェア→ライドシェア特区
③	<ul style="list-style-type: none"> 広域でのバス運行 よぶのるデマンドは過去の事で又新たには始まらないでしょうか 	<ul style="list-style-type: none"> バス停の位置がわかるように地図に基づく絵にしてほしい バスの位置情報アプリが二次元コードからよみとれない デマンドタクシーの申請料を無料にしてほしい デマンドタクシー簡単な手続きでの利用 乗り方より利用できる交通ツールの一元化（LINE発信） 宿泊税を活用した交通事業者賃金補填
④	<ul style="list-style-type: none"> バス停にベンチがほしい 町内循環バスについて運行情報をウェブで周知する 町内循環バスのインターネットでの広報を強めてほしい グーグルマップに町内循環バスがのるようにしてほしい デジタルサイネージもいいが個人のスマホに表示するアプリが欲しい 電子決済（Suica）使えるように おでかけ券の充実 金額と利用範囲 	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスの増便 ルート拡大 町内への観光客について鉄道利用者へのサービス（しなの鉄道、新幹線とのタイアップ） バス停に貼ってある時刻表が色あせてしまっているのを直してほしい

【休日グループ2】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> 既存のシステムの維持、確保…現時点での公共交通としてうまく機能出来ていないと感じる為、改善や拡充を目的とした しなの鉄道の本数増便（少なくとも30分に1本） パーク＆レールライド 町外、県外の利用促進を行う 交通量のコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> バスのない時間帯でのタクシー料金補助 医療インフラの分散化も 小売業の分散化（アクセスのしやすさ） 運転手不足の解消による運転免許証取得の援助 自動運転活用による運営コスト削減、運転手不足解消 乗り継ぎ改善 しなの鉄道中軽駅が勿体ない 買い物バスの導入
②		<ul style="list-style-type: none"> デマンド 電話予約必須 アプリのみ不可 路面電車やバス専用路線の整備 しなの鉄線路を利用したバス運行
③	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を利用する意識の改善 公共交通データを設定して料金を半額にする 	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに合わせたカーボンオフクレジット（ポイント）
④	<ul style="list-style-type: none"> バスの時間表をアプリとしてつくる フリー乗降？ 	

【休日グループ3】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場マップ希望 軽井沢駅⇒御代田駅のバス便を増やす 車での移動ではなく公共交通を使うメリットがほしい（京都のり放題券のような） デマンド輸送 乗り降りの自由度向上、利用時間延長 <ul style="list-style-type: none"> しなの鉄道の乗車料金を安くする 観光客がいろいろな所に止める（レンタサイクル） 風越学園に循環バス停を 軽井沢駅近辺に年契約の長期貸し駐車場の設置 駅から遠い場所にでも年契約の長期貸し駐車場の設置 新駅増設 風越学園 アイザック 駅周辺駐車場の通勤者の独占を防ぐ対策を 学生の送迎ラッシュを減らすための通学バスの運営 18:30以降のバス（中軽～西エリア） 定時運行の電車と遅延の発生するバスとの乗り継ぎは難しい面があるので、余裕をもったタイムスケジュールで問題ないと思う 18:30の北コースのバスを増やしてほしい 公共交通からの新たなモビリティ通行帯 [歩行者][モビリティ][車] 歩車分離 観光利用を生活利用にも連携できる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 信濃追分駅前に長期貸し駐車場の設営 タクシーの料金高すぎる 電車やバスに自転車を載せられるようにしてほしい 自転車等グリーンスローモビリティとの共存可能な道路整備 そのための現状調査 町内循環バスの路線、道路の整備（車道、歩道） 学生は歩きと自転車でとのことですが、借宿東～中軽までの18号の歩道の道がガタガタで危険 北コースと西コースを増やしてほしい 通学バスとして西部エリアは浅間ふれあい公園などにバスを停車させるのはどうか？ スクールバス（西武エリアから軽中）
②	<ul style="list-style-type: none"> バス停配置「風越学園駅」設ける 現在は風越公園駅があり学生は学園から公園まで1キロ歩いている。又、学園近辺に別荘や住宅もあり交通空白の削減効果あり 時間経過に伴い人の住むエリアが新しく発生したりするので（風越学園付近など）バス停配置は数年単位で見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 冬利用の対策？（バス待ち） 学生の送迎ラッシュを減らすための通学バスの運営 スクールバスのバス停まで安全に行ける道路整備 別荘管理事務所のバス運行との協働 南軽井沢のレイクニュータウンで自社の別荘迄の循環バスを7月下旬から8月下旬まで運行している。このルートは公共交通空白地を運行している。町との協働で夏期1ヶ月でなく年間になると効果ある 「デマンド」「よぶのる」「シャトルタクシー」「ライドシェア」それぞれの違いがわかりにくい。選択しやすい広報
③	<ul style="list-style-type: none"> 料金の構成（オンデマンドなど）が複雑 代わりがわからない 情報の一元化 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や老福などでやるイベントなどの開催時間をバスにあわせ、イベントの周知、広告、チラシへバスの時間を載せる 町内の事業者へも公共交通の活用を依頼し、それぞれのHP等へも載せてもらう（事業者へもメリットつ

		<p>くる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの停留所や次の時間の便を検索できるようにしてほしい（今よりも） ・宿泊施設とも協力し車を止めてバスを使えるように駐車場の利用等 ・パーク＆レールライド推進のため、町内へ来る前方へ情報の発信 ・電気自動車オンリーの区間を
④	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の浸透に向けて周知高めてほしい ・交通系 IC も導入し、鉄道のまま利用できるように ・多言語化 ・自治体アプリの活用 ・高齢者への情報周知 ・軽井沢駅改札出口付近にデジタルサイネージによるバスの発車時刻案内表示 ・一元的な案内板の作成 町内循環、民間等の枠を超えてリアルタイムの運行状況の表示をまとめてしてほしい ・循環バスを親しみやすく 名称、デザイン ・バス停を見やすく視認性高めるデザイン、カラー ・軽井沢駅に（各バス停にも）交通情報のデジタル掲示版を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィスラーのようにきれいなバス停デジタル掲示板

2.2. 公共交通全体への要望

骨子に掲げる基本方針、目標、事業などにとらわれず、今後の公共交通を考える上で検討を要する内容や、今後の公共交通をどのように利用していきたいかといった思いを聞いた結果は以下のとおりです。

【平日グループ1】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・無人タクシーの早期導入（特区でもいい至急） ・若者（労働世代）の定住しやすい環境まちづくり ・フリーバスの運用（広告による） 	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスは15～20分に1本 ・しなの鉄道は軽井沢⇒小諸、小諸⇒佐久 15～20分に1本 ・運転免許が取り消された時、バスを使うかも、今のデマンドタクシー ・18～23時頃の外食帰りの交通手段

【平日グループ2】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・ドア to ドアのケースも考慮して欲しい（高齢者） ・住民のあらゆる人々が必要とする公共交通 ・路面電車＝コンパクトシティ ・少しお手伝いが必要な方のサポート＆移動 ・時間制限付きの専用道路化・鉄道を軸とした公共交通網の再編 	

【平日グループ3】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・ロンドンバスを走らせる ・軽井沢町内のみでまとまるのではなく、隣接自治体との移動もみすえた対策が必要。特に佐久市との移動が公共交通手段では出来ない ・医療センター、浅間総合高原病院への通院の為の交通 <ul style="list-style-type: none"> ・御代田の方が東京へ行く時、帰りの乗り継ぎが悪いので軽井沢駅まで車で来る ・生活者は佐久方面は必須 ・「誰もが」基本方針なのであれば公共交通未利用者ゼロを目指とする ・計画を決めて終わりではなく、持続的にアップデートしてほしい ・タクシーよりはマイクロバスで地区ごと子供の送迎（小、中、高）を地区ごとであればよいと思う ・役場の人も公共交通を使ってもらい、持続的にFacebook Updateしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・便利になりすぎるのも軽井沢特有の環境を壊す恐れがある。夜営業は少し考え控える方が ・乗りたい時間に走っている ・待ち時間が少なければ利用が増えると思う ・補助が出る ・本数が多いこと ・利便性が高い ・工場、会社ごとに送迎があると渋滞が減る

【休日グループ1】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが「すごしやすい」の表現であれば、町民特化にはならないので適する ・ライドシェア集中 ・自動運転推進 ・道路の改善 ・公共交通財源の新たな確保（宿泊税） ・広域での公共交通のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外居酒屋 行く時、帰る時 ・利便性が上がればいつでも使いたい（子供、高齢者をとりこぼさない）

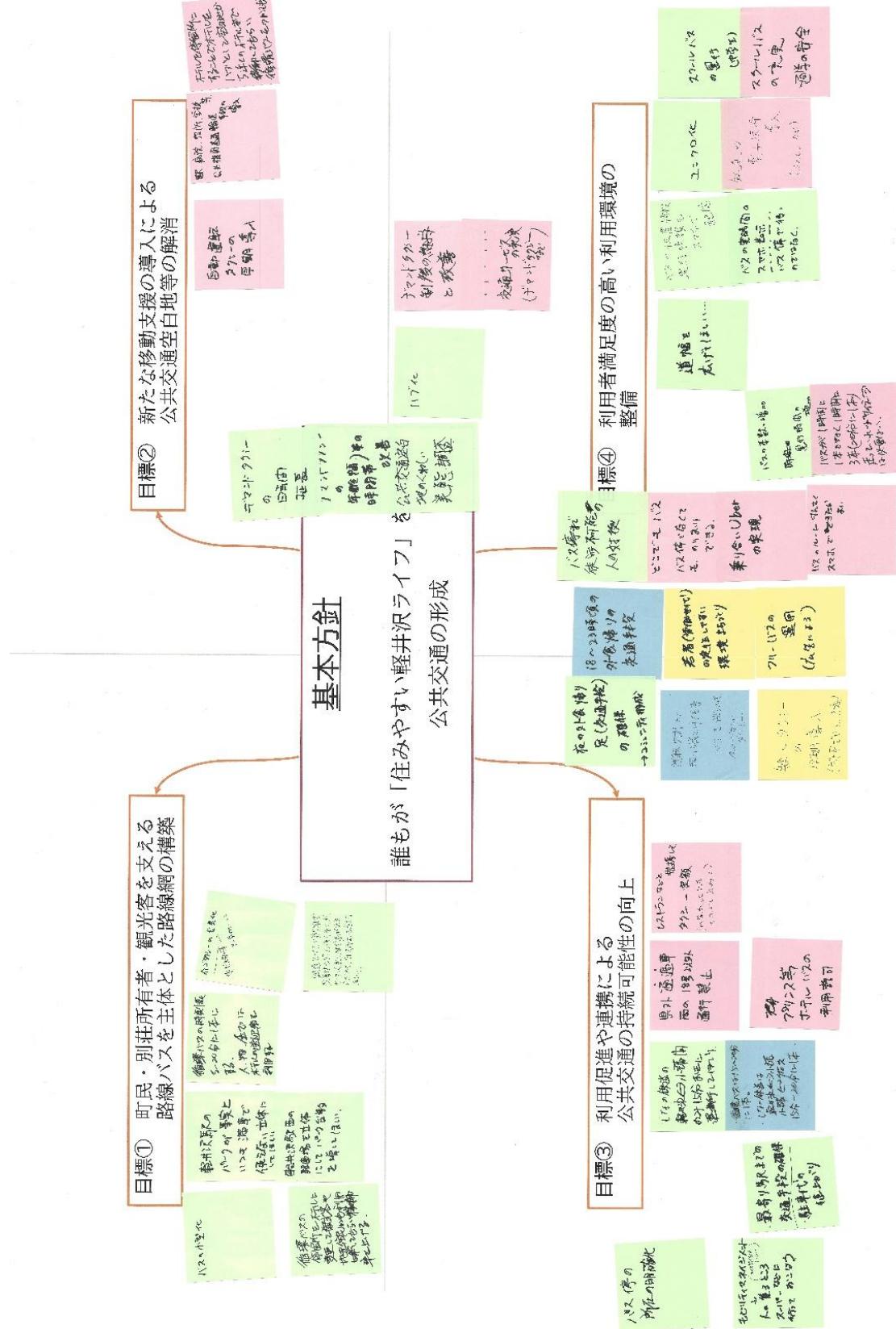
【休日グループ2】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のためのおためしチケット配付 ・借宿⇨ISAC 間のシャトルバス 夜学生さんがたくさん歩いている ・鉄道を軸とした公共交通網の再編 ・民間のホテルのシャトルの活用（空で走っているバス有） ・細かいでの公共交通の運行 ・ミニバス程度の大きさの循環バスがあれば担い手も増えるのでは ・ヘビーユーザーの事例の取り上げ ・目的別ルート運行 ・低床バスの導入 ・「移動」が主語ではなく「欲しい暮らし方」を捉える ・現在、渋滞対策として迂回路表示しているが、迂回させた先の許容量を超えた状態、渋滞を分散させただけ 送った先の道路改善を ・年齢やライフスタイルを反映した、全世代を巻き込んだ計画を ・大規模開発リゾートホテルへのシャトル相乗り義務化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハブ＆スキーによる地域カバー ・自家用車利用者に「今使わないとなくなる」と訴える 今はいいけど返納後に困る ・ルート検索と位置情報の連携 路線検索+バスどこ ・CO2 対策 ガソリン代の削減が可能 ・民間バスとの運行調整 ・停留所 JAと鳥井原団地間に新設を希望 六本辻と旧軽井沢間も新設希望 ・一時期あった「バスどこ」が今は使えない ・草軽便鉄道復活希望 ・追分駅と分かされ間の便充実 ・町民割引の導入

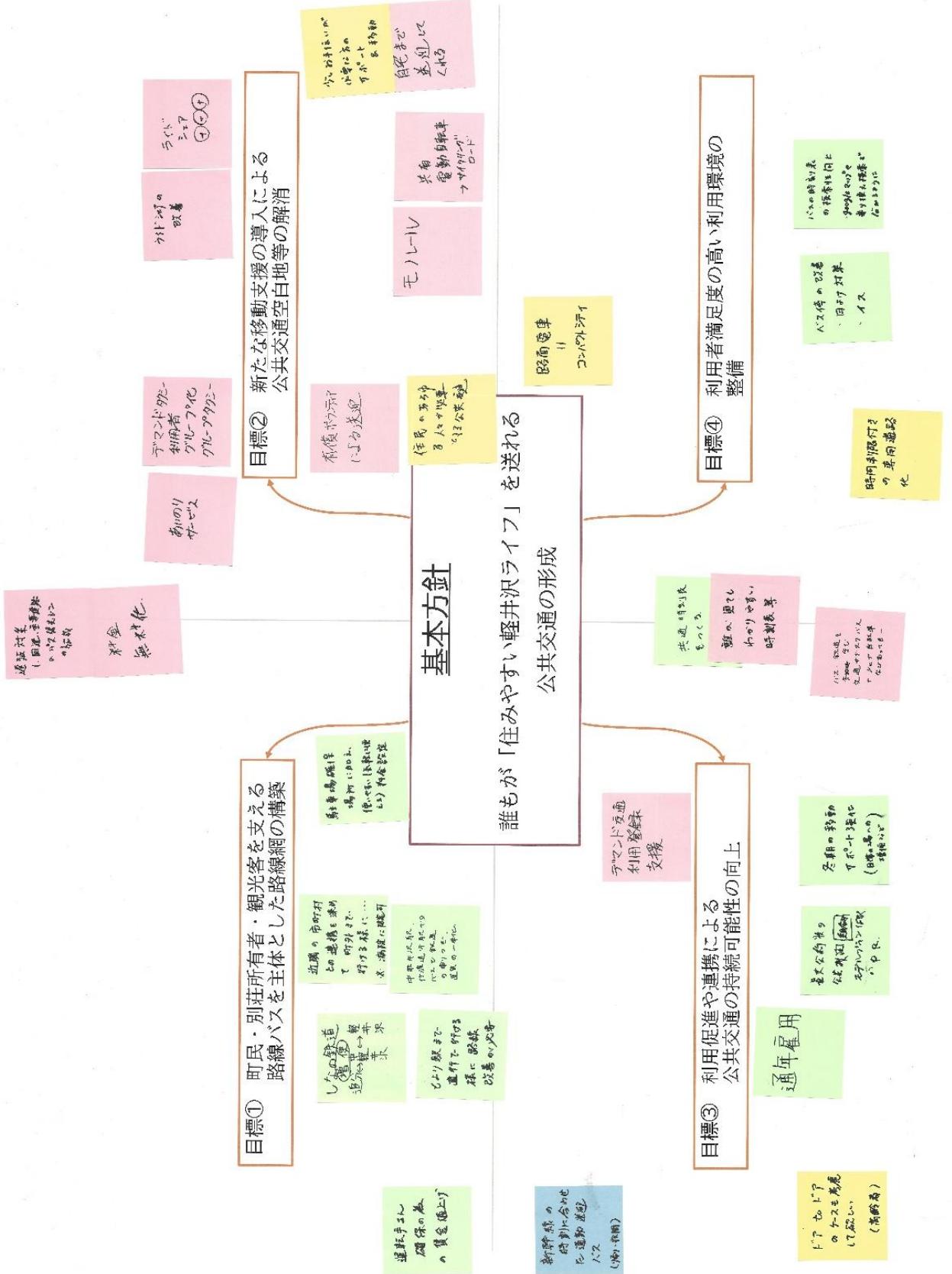
【休日グループ3】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の自家用車の乗入れを防げないか ・景色、空気などウェルネスな軽井沢イメージの相乗効果ある公共交通 ・ドライバー養成→大型、中型、大型二種、中型二種の取得補助金+その後の就職サポート ・ノーマイカーデイを開催したい ・商業区以外の所に 5~6 階建ての駐車場を作り町内の車台数を減らす 駐車場からはシャトルなど ・電車、バス、自転車をフル活用できるクリーンなリゾートになってほしい ・旧軽井沢鉄道の復活（草軽鉄道） ・学生は年内パスポート（定期券）を発行させてスマホや現金を持たせない ・町外車輌の流入制限 ・連携交通 公共、民間、個人？ ・新ルート 追分駅～軽井沢駅 無料シャトルバスバンバン 	<ul style="list-style-type: none"> ・<循環バス>北廻り 「黒橋」経由を朝夕1便あればありがたい（バス停配置の最適化） ・車が運転できない時や人 ・利用料高、時間がよめない→ほぼ使っていない ・バスや電車に自転車をのせられたらもっとバスや電車に乗りたい ・民間との連携 別荘地内の循環バス ゴルフ場送迎バス

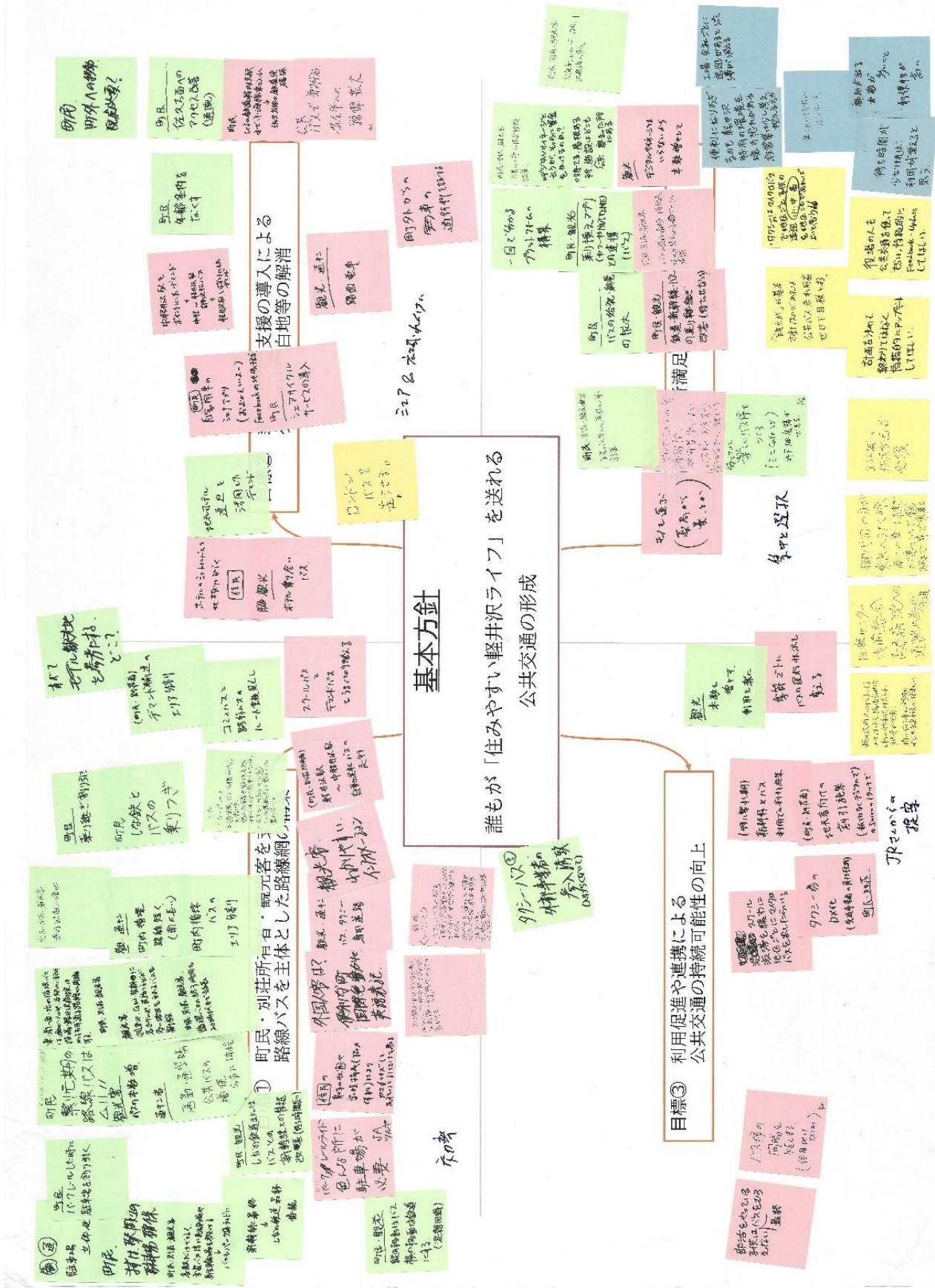
2.3. ワークショップの成果



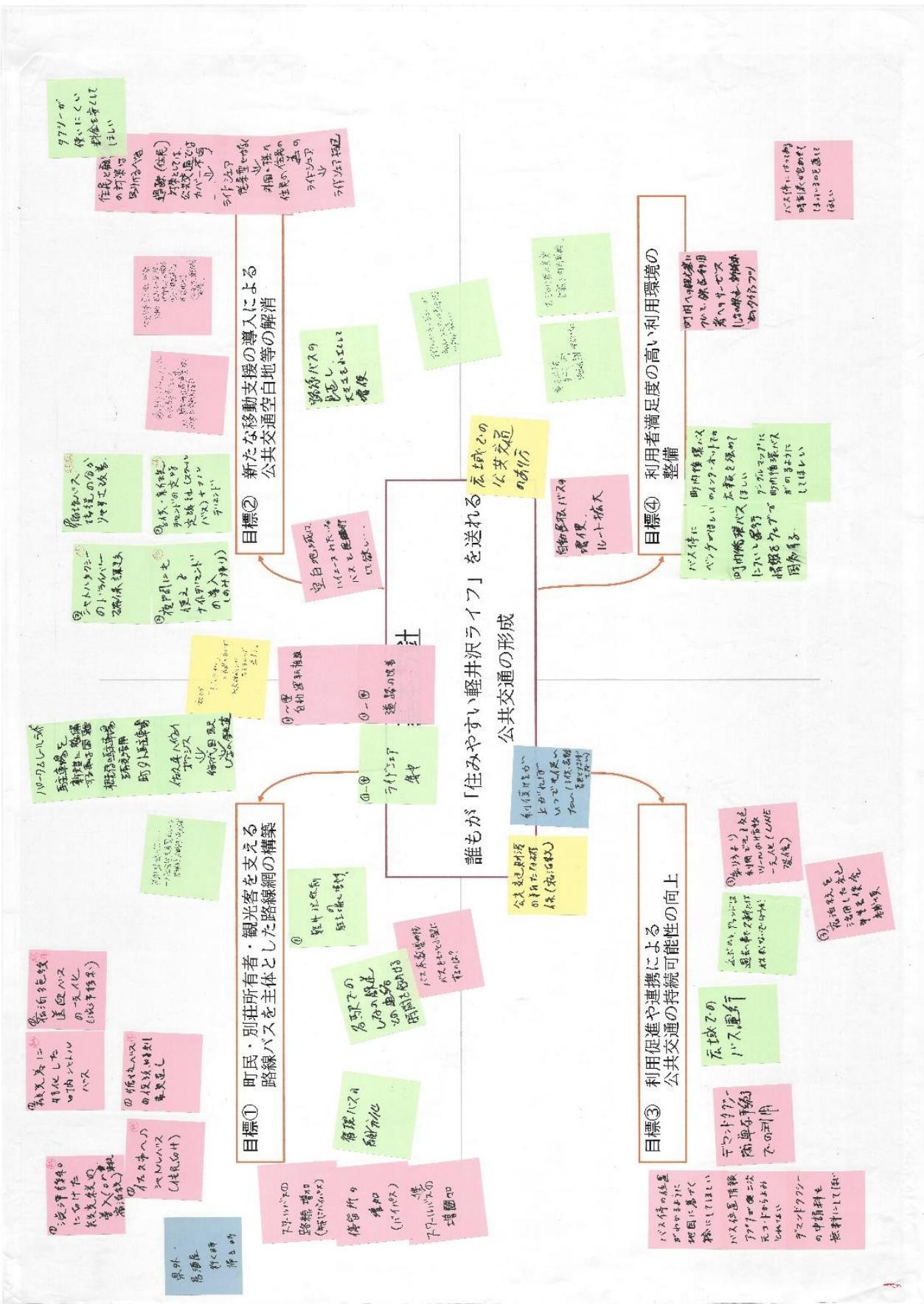
グループ1 (平日)



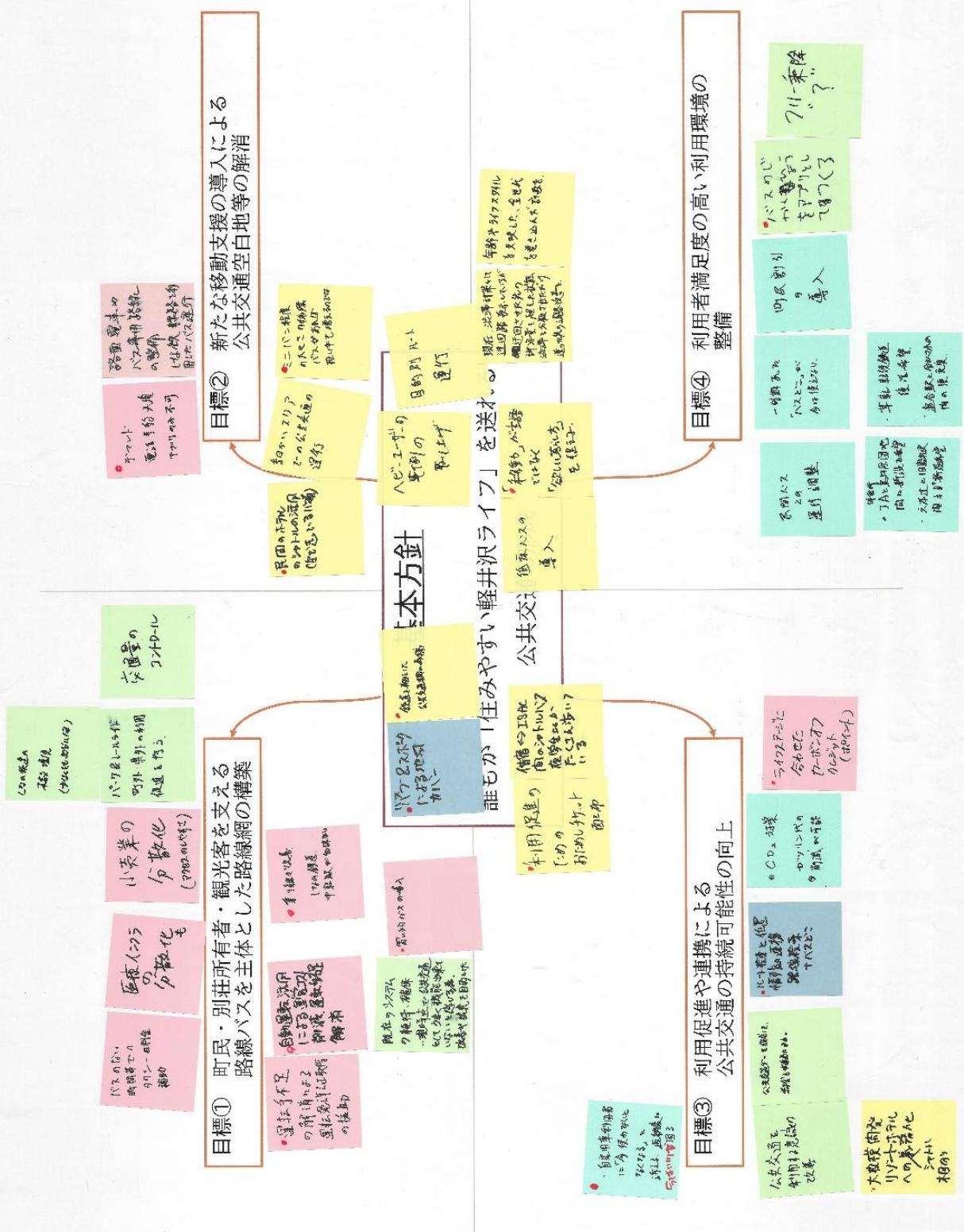
グループ2（平日）



グループ3（平日）



グループ1（休日）



グループ2（休日）

